

2021年5～7月号

# カサ・デ・アミーゴス会報

事務所：〒411-0018 三島市初音台 4-7(代表自宅)  
代表 高原 静子(携帯 090-4083-3281)  
TEL&FAX:055-972-1793

URL:<http://camigos.web.fc2.com/> E-mail: [c.amigos2012@gmail.com](mailto:c.amigos2012@gmail.com)  
郵便振替: 00890-2-2473

倉庫: 〒411-0803 三島市大場 952-9

## 6/5 カサ・デ・アミーゴス総会の報告

6/5、三島市民活動センターで、アミーゴス総会が開催、外国人5名を含む27名が出席。総会は活動、会計の報告と活動方針、予算案が提起され、満場一致で承認されました。2020年度は、コロナ禍により、仕事が無くなる、給料が減る、仕事に就けないなどにより、生活が困難となる人達が急増、学校は休校、職場は待機やリモートなど、生活の急激な変化があり、アミーゴスの生活相談、労働相談、食料支援、学習支援活動は、例年を上回る活動となりました。

食料支援活動では、年度の前半は、赤い羽根第1回フードバンク等活動助成の91万円助成金を受け、年度の後半は、過大な寄付を寄せていただいたことにより、フードバンクからの食料調達は前年の倍を超える46回(2019年は20回)を行い、冷凍冷蔵庫購入による冷蔵の保管、配付の整備や、倉庫に棚を設置し保管量を増やすなど、生活困難者への支援強化に力を注ぎました。

コロナ感染拡大の中、一年を耐え、しのぎましたが、コロナ終息の兆しは見えません。引き続き、きびしい状況が続きますが、2021年度もコロナ禍を耐え生活していくため、皆さんで協力して取り組んでいくことを確認しました。

＜記念講演＞ 2:20～4:00 (質疑応答を含む)  
演題「助けてと言える社会へ  
～フードバンクがつなぐ食によるセーフティネット～」  
講演者：鈴木和樹さん (POPOLO 事務局長)

総会后、記念講演が開催されました。

講師は、鈴木和樹さん(ポポロ事務局長、フードバンクふじの国事務局長)、演題は「助けてと言える社会へ～フードバンクがつなぐ食によるセーフティネット～」。

自身は両親が離婚、祖母の病気、金銭枯渇などの事情により、生活保護を受けていたことがあったことや、社会人として就労し成果を収めたことや、社会で生きていく中で、家庭環境、仕事、心身の状態、人間関係など様々な理由により、居場所を失ってしまったなど困窮している人達と接してきたことから、生活困窮者の一時宿泊住居(ぽぽろハウス)を始めたとのこと。

やがて、住まいはあってもお金のない人には、食べ物が必要であることからフードバンク活動を始め、今のフードバンクふじの国の立ちあげるにかかわることに至ったことが話

された。

活動内容の詳細は短い時間では語りきれないが、貧困状態の人は様々な問題を複合的に抱えていることが多く、フードバンクだけは支援が出来ないこと、市町などの公的機関との連携や、地域の包括的なかわり、支援が必要。しかし、支援を必要とする人は、情報アクセス、心理的ハードル、問題解決の困難さ、頼れる人がいない、助けての声があげられないなどの特徴がある。相談の掘り起こしをしないと埋もれたままとなってしまう。

相談機関、援助制度や資源につながる必要があるが、そのためには、周りの人達やNPO組織等が、援助すること、働きかけること、外に手をさしのべるなど連携していくことが大切であると。  
(水野さんのまとめ)



★鈴木和樹さんの講演会資料を、アミーゴス HP(<http://camigos.web.fc2.com/>)のドキュメントに、近くファイルする予定です。支援活動に大変役立つ資料です。

## 暖かいお心のこもったご寄付等有難うございました。

### <会費及び現金・物品等の寄付>

- |       |         |       |       |                  |
|-------|---------|-------|-------|------------------|
| 2020年 |         |       |       |                  |
| 11.30 | 立正佼成会様  | 寄付金   | 06.05 | 守屋 中様 会費+寄付      |
| 2021年 |         |       | 06.05 | Sr 寺田和子 会費+寄付    |
| 05.15 | 立正佼成会様  | 寄付 お米 | 06.05 | 総会時に会費           |
| 04.18 | 前田光世様   | 会費    |       | MarTa 服部様、高原静子様、 |
| 04.22 | 大谷節子様   | 寄付+会費 |       | 堀考信様、ルイサ西岡様、     |
| 04.27 | 清水町防災課様 | 寄付 白米 |       | 水口英男様、百瀬秋彦様      |
| 05.02 | 石嶋英子様   | 会費    |       | 野澤洋子様、菊池博様、      |
| 05.10 | 土橋信也様   | 寄付    |       | 平野謙様、岸本ジョーナル様、   |
| 05.15 | 四茂野晴子様  | 会費+寄付 |       | 神田ラウラ様、鈴木通正様、    |
| 05.22 | 長谷川淑恵様  | 寄付    |       | 水野義夫様、小澤輔夫様      |
| 05.23 | 浅川隆子様   | 寄付    | 06.13 | 井原美由紀様 会費        |
| 05.23 | 沼田美智子   | 寄付    | 06.15 | 太田絹子様 寄付         |
| 05.26 | 匿名様     | 寄付    | 06.22 | 橋鈴木俊昭様(虹の架け) 寄付  |
| 05.27 | 河村美里様   | 会費+寄付 |       |                  |

---

## 予定とお知らせ

### アミーゴス例会開催日について（第3木曜日開催を予定）

6月の例会は総会があったため中止になりました。

7月の例会 7月15日（木）午後7時から、カトリック三島教会

8月の例会は毎年お休みです。

\*今後、月末の最終木曜日は、教会の催しと重なるため、例会は第3木曜日となります。

12月までの開催予定日は、9/16、10/21、11/18、12/16です。

### 食品調達&入庫予定

1.7/8(木) 八潮倉庫(埼玉県)、トラック3名

高原、イザベル、水野さんで行く予定。

当日のスケジュールは

10:00 大場倉庫出発→14:30 八潮倉庫到着、積み込み→18:00 頃、大場倉庫帰着入庫作業

2.7/13 午後、小田原へ、AGF コーヒーギフト 81 ケース受領予定(軽トラ2名)

午後 12:45 ころ三島を出発し、午後 4 時ころに大場倉庫入庫終了予定です。

同行者1名募集中です。

3 その他

・7/9 (金) 9:00~12:00 ダブルチョコソース 30 ケース 賞味期限 (21/07/29)

大場倉庫へ直送

### 八潮行き食品調達の予定（行ける人を募集中）

セカンド・ハーベスト・ジャパン八潮倉庫行きの日程

8/23(月)、9/9(木)、10/14(木)、11/11(木)、12/9(木)

外国人も日本人も、八潮、小田原などのフードバンクへ行きたい人、行ける人

また、食料支援活動に参加したい人は、アミーゴスへご連絡ください。

---

## <活動報告>

### 労働相談

#### <2021年4月18日、ペルー系N氏の労災相談>

Nさんは富士市在住、富士宮の派遣会社から、派遣先はT工業で働いていた。昨年3月24日、機械の不具合で自動機械を手動で動かしていた。ところが機械に巻き込まれて、左親指骨折の労災事故。富士整形外科病院で治療、今年2月で労災打ち切り、それまで休職。3月から職場復帰、派遣会社から51万円の社会保険料個人負担分の請求が来た。明細が分からない。事故以降、休職中は労災補償として毎月、163,246円+54,405円程度のお金を受け取った。①派遣会社の社会保険料個人負担分の明細を聞きただし、請求根拠の明示を求める。②労災の休業補償、不足分2割を会社に請求することが可能。③派遣先には労災損害賠償の請求を行うことが可能。④労基署には労働災害診断書を添えて後遺障害一時金請求書を提出することが可能。②、③についてはユニオンに加入し、団体交渉を通じて会社側に要求することが効果的、ただし、会社と対立することになるので、やるならそれなりの覚悟を決めた行う必要がある。その後、本人からの連絡はない。

## <2021年5月17日、ペルー系 Tさんの労災相談>

Tさんはペルー系の女性労働者。富士市在住で、富士宮の電気機械器具製造会社に契約社員として採用されていた。2年間働き離職、少し間を置き、2年前頃からまた働き始めた。2020年8月24日、昼休み時間後、作業に就くため、工場内の通路を歩いていて、いつもは無かった突起物に躓いて転倒、右腕肘を打撲、4針縫う怪我で、富士宮市立病院に労災事故で通院、3ヶ月間の休業。昨年、12月7日から職場復帰、2021年4月9日労災打ち切り。本人は右ひじが痛く、肘の曲げ伸ばしが上手くできず、従来のような仕事ができない。後遺障害補償の請求をしたい。可能なら会社側に労災の不足分2割の支給と損害賠償請求を行いたい。しかし、今の仕事が打ち切られる恐れもあるので検討したい。病院は富士宮市立病院整形外科、担当医が日本語の上手く通じない本人の意思を十分確認しないまま、労災打ち切りの診断書を労基署に提出した疑いがある。5/19富士宮市立病院へ電話したところ、本人から後遺障害診断書の請求があり、渡すことになっているとのこと。後は後遺障害認定がどの程度認定されるか、障害等級が低いと、わずかな一時金支給で済みとなる。労災不足分の2割を会社に請求したり、損害賠償を会社に求めるには、会社と争うことになり、本人の一定の覚悟が必要となってくる。まずはユニオンに加入し団体交渉で解決を求めるしかない。

赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン  
「第3回 With コロナ 草の根応援助成」事業報告

### 食品調達活動に外国籍の人も参加

#### 1. 西岡ルイサさんのレポート

4月8日、埼玉県の八潮倉庫に行きました。初めてだったので緊張しました。なぜかと言うと、そこには、やさしくない人がいると聞いていたからです。でも皆さん親切で、きちんと教えてくれました。早めについたので、外から見ると、思ったより場所は大きくなかった。待っているあいだに、もうひとつの団体がきました。そのなかで2人女性がいました。すぐ話しができて「高原さんはなぜこなかった？」ときかれしました。水野さんが、話しにはいって、「ルイサさんが高原さんの代わりにきました」と、紹介してくれました。その中の人で、小学校の時にボリビアの友達が入学していたので、スペイン語の言葉を思い出したと、少し練習して楽しかった。話しの途中で、私たちの順番になりました。その2人は、いろいろ教えてくれたり、水野さんの指示でチームワークにはいりました。もらう物を数えたり、台車につんだり、物を車に運んだりしました。そのすぐ近くに、いろいろある物、チョコレート、パンなどを、2つのカゴにもらいました。



た。あと冷凍庫では、5個の箱をもらうことができます。その時迷いました。たくさんもらいたいけど、どれを選ぼうかなど?結果として、外国人のよく使う物にしました。水野さんは、もらう数が少ないので分けることをしんぱいしました。

最後にもらった物をタブレットにデータを入れて、おわりました。また行きたいありがとうございます^\_^

## 2. ダリオさんのレポート

• Informe de actividad del Sr. Dario

Soy Dar í o. El d í a 13 de mayo, fuimos a recoger alimentos al almac én Second Harvest, de Saitama. Fui muy contento porque participaba en esta actividad, con otros de los miembros; porque tambi én era la primera vez que conduc í a un cami ó n , en Jap ó n. Es muy gratificante sentir que puedes hacer algo por otras personas. Al llegar al almac én, pude ver que no era tan grande como lo hab í a imaginado, pero igual, recibimos muchos alimentos. De regreso, aunque cansado, sent í mucha emoci ó n de haber concluido un d í a muy bueno, y agradecido por la oportunidad de participar en esta actividad.

### ダリオさんの活動報告

ダリオです。5月13日、埼玉のセカンド・ハヴェストに行きました。アミーゴスのメンバーと共に活動に参加したり、また、初めて日本でトラックを運転したり、とてもうれしかったです。人のために活動できることを幸せに感じます。この活動のすべてが、気持ちよく感じられます。

着いてみると倉庫は思ったより小さい場所でした。けれども、物資をたくさんいただきました。帰る時には疲れていましたが、とても感動していました。いい一日を過ごせたこと、この活動に参加する機会を持てたことにとっても感謝しています。



豆 日 日 新 聞

令和3年(2021年)5月24日

# 外国人市民に生活情報を

## 三島市「めっせんじゃー」6人任命



市民生活情報サイト(www.city.mishima.lg.jp)やメールで外国人市民に三島市の情報を発信する「めっせんじゃー」のスタート式が21日、三島市役所大ホールで開催された。豊田武三市長が外国人市民と多様な文化背景を持つ人々(寄っこんで)に生活情報を伝えた。

関係は多言語対応にしている。さらに言葉が通じない外国人市民に生活情報を伝えるため、外国人市民を「めっせんじゃー」に任命した。

任命されたのは、三島市本郷一丁の高級住宅街に暮らす「のびっくら」の代表、千原代表、カサ・デ・アミーゴスの代表、原代表とヘル、自衛、ベトナム出身の市民。

任命が公式フェイスブックの発信した内容を共有して、またに拡散する。新型コロナウイルスの拡大や生活に必要な情報も伝える。

豊田武三市長は、市民生活情報サイト(www.city.mishima.lg.jp)やメールで外国人市民に三島市の情報を発信する「めっせんじゃー」のスタート式が21日、三島市役所大ホールで開催された。豊田武三市長が外国人市民と多様な文化背景を持つ人々(寄っこんで)に生活情報を伝えた。

支援団体  
石井代表

「住みやすい町に」



みしまめっせんじゃー

Casa de Amigos

カサ・デ・アミーゴス様

あなたを、在住外国人の方々に三島市が発信する情報を伝える「みしまめっせんじゃー」に任命します。

三島市

2021年5月22日



